

八千代市議団ニュース

福祉常任委員会

堀口明子

☎047-767-5030



文教経済常任委員会

いはら忠

☎047-488-7207



総務常任委員会

いいかわ英樹

☎080-1239-8132



八千代市2025年度予算

市民の暮らし優先の組替えを提案

2025年度予算は5月に市長選挙が行われることから、骨格予算としています。しかし、10億円を超える4つの大型事業が予定されており、財政調整基金(家庭でいう貯金)約30億円のうち19億円を取り崩し、市債(借金)は近年に近く増加し約85億5千万円にもなります。

防災道の駅など不要不急な事業が含まれているため日本共産党は、一般会計予算の組替えを提案しました。

組替えの内容は、八千代市の予算833億円

のうち、わずか1.2%を活用して、学校体育館にエアコンの設置、コミュニティバスの試行運転、さらに学校給食費の無償化を拡充、加齢性難聴者への補聴器購入助成などです。

また、国民健康保険事業特別会計についても国民健康保険料を1世帯あたり1万円減額するなど、暮らし優先の組替えを提案しました。

しかしながら、賛成者少数で否決されてしまいました。※議決結果は裏面をご参照ください。



堀口明子議員

防災事業に
ならない 防災道の駅事業は凍結せよ!

新川(16号線)沿いのふるさとステーションを防災の拠点にすることに、日本共産党は以前から疑問を投げかけていました。市は「国からの事業」「防災マップの危険区域からぎりぎり外れている」と答弁していました。

2025年度予算は、防災道の駅事業に約21億円をつぎ込み、その内の7割(約15億円)は市債となっています。

しかし、「防災道の駅整備事業」と銘打っていますが「老朽化した建物のリニューアルのために「緊急防災・減災事業債」は使えないと予算

委員会で答えています。また、新たな建物(レストラン)も計画されています。

他の公共施設でも老朽化が著しいものはたくさんある中で、道の駅だけに21億円もかけて今リニューアルする必要があるのか疑問です。不要不急の事業は凍結するべきと日本共産党は主張しました。

●参考1:ふるさとステーション

「防災道の駅やちよ・八千代ふるさとステーション」の基本設計が完了しました。

(八千代市ホームページ)



<https://www.city.yachiyo.lg.jp/soshiki/39/42419.html>

●参考2:緊急防災・減災事業債

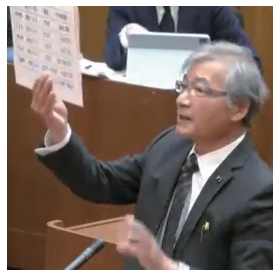
東日本大震災を教訓として、喫緊の課題である防災・減災対策のための地方単独事業を全国レベルで早急に進めることができるように国が創設した事業債です。2024年度からはドローンやトイレカーなどの整備を追加するなど、対象事業を拡大しています。国からの充当率は100%(元利償還金の70%を地方交付税措置することになっています)

※参照:自治体施設・インフラの老朽化対策・防災対策のための地方債活用の手引き R6.10(総務省)

近隣市の ようにコミュニティバス運行の拡充を求める

誰もが自由に移動できる「交通権」は基本的人権の一つです。日本共産党は、市内のどこにいても便利な公共交通を求めています。

八千代市地域公共交通計画(2024年3月策定)では、北部エリアについて「ニーズの詳細調査・実証運行に向けた検討」が始まっていますが、市の南部地域については、「交通は一定程度発達した状況にあり、アクセスはおおむね可能」という立場です。しかし、市民からは「コミュニティバスが欲しい」という声が日本共産党のもとに届いています。



日本共産党は、議場において参考資料として“近隣市のコミュニティバス運行状況”を示しながら近隣市と同じようにコミュニティバスの運行を積極的に拡充することを要望しました。

	＜運行ルート数＞	＜運賃＞	＜市の負担額＞
八千代市	市内1コース	170円	846万円
佐倉市	市内5コース	200円	9164万円
鎌ヶ谷市	市内5コース	100円	7472万円
印西市	市内6コース	100円	1億1568万円
習志野市	市内5コース	160円～310円	6500万円

(R5/3/31現在千葉県調べ)

小学校がなくなってしまう米本団地

学校がなくなって3年 「子育て世代が減少」

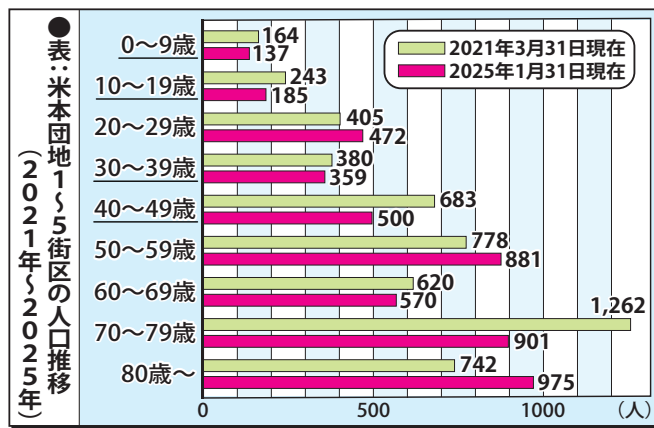
米本団地は、1970年に住宅公団(現UR都市機構)によって衣食住の環境とあわせて学校など公共施設が整備された街として完成しました。

しかし、2022年4月、統廃合によって米本団地内にあった2つの小学校がなくなり団地からは子育て世代が減少しています。

団地内に小学校を再開するべき

日本共産党は、地域の魅力を取り戻すために、「団地内に小学校を再開するべき」と求めましたが、八千代市は「まちづくり」の視点で学校の必要性を

認識していません。日本共産党は、引き続き暮らしやすい街づくりを求めています。



2025年3月議会 主な議案・請願・発議案に対する議決結果

○：賛成、×：反対、除：除斥、退：退席、欠：欠席
議長は採決に加わらず 敬称略

議案・請願・発議案	議決結果	賛成数 反対数	日本共産党											市民クラブ					自由民主党					公明党					八千代市民に 寄り添う会				
			飯川	伊原	堀口	嵐	小澤	崎村	澤田	成田	花島	林	伊東	大澤	大塚	辰巳	塚本	萩原	石山	末永	高橋	立川	森	飛知和	山口	大竹	菅野	高山	三田	若松			
令和7年度八千代市一般会計予算に対する組替え動議	否決	賛成4 反対22	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×				
令和7年度八千代市国民健康保険事業特別会計予算に対する組替え動議	否決	賛成4 反対22	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×				
加齢性難聴者の補聴器購入助成制度の創設を求める請願	不採択	賛成9 反対17	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×				
訪問介護の基本報酬を始めとした介護報酬の引上げを求める意見書について	否決	賛成7 反対19	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	○	○	○	×				